

第9回 PEACE & GREEN BOAT 2016

水先案内人



今井紀明／IMAI Noriaki

【認定 NPO 法人 D×P (ディーピー) 理事長】



1985 年生まれ。高校生のとき、イラクの子どもたちのために医療支援 NGO を設立。当時、紛争地域だったイラクへ渡航。現地の武装勢力に人質として拘束され、帰国後「自己責任」の言葉のもと、日本社会から大きなバッシングを受ける。結果、対人恐怖症になるも、大学進学後、友人らに支えられ復帰。通信制高校の先生から通信制高校の生徒が抱える課題に出会う。親や先生から否定された経験を持つ生徒たちと自身のバッシングされた経験が重なり、任意団体 Dream Possibility を設立。通信制高校の高校生向けのキャリア教育事業を関西で展開し、「ひとりひとりの若者が自分の未来に希望を持てる社会」を目指して行動している。

香山リカ／KAYAMA Rika

【精神科医】



1960 年生まれ。東京医科大学卒。学生時代より雑誌等に寄稿。その後も臨床経験を生かして、各メディアで社会批評、文化批評、書評など幅広く活躍し、現代人の“心の病”について洞察を続けている。専門は精神病理学だが、テレビゲームなどのサブカルチャーにも関心を持つ。著書に『しがみつかない生き方』『働く女の胸のウチ』『精神科医ですがわりと人間が苦手です』『くらべない幸せ』『どうして理想の自分になれないのか』など多数ある。

金朋央 キム・ブンアン／KIM Boongang

【NPO 法人 コリア NGO センター・東京事務局長】



1974 年富山県生まれ。在日コリアン三世。在日コリアンの学生団体、青年団体を通じて、約 20 年間在日コリアンの若い世代(3・4 世)の教育活動に携わる。現在、NPO 法人 コリア NGO センター・東京事務局長。在日外国人の人権保障や多民族多文化共生社会の実現、戦後補償問題、日韓市民・社会団体間の交流促進などを目的とする活動を行なっている。

木村朗／KIMURA Akira

【鹿児島大学教授】



1954 年 8 月生まれ。北九州市小倉出身。鹿児島大学法文学部教授。日本平和学会理事、国際アジア共同体学会常務理事。主な著作は、単著『危機の時代の平和学』、共著『核の戦後史』『広島・長崎への原爆投下再考』『「開戦前夜」のファシズムに抗して』『米国が隠す日本の真実』、共編著『終わらない<占領>』『20 人の識者がみた「小沢事件」の真実』『21 世紀のグローバル・ファシズム』『核時代の神話と虚構』『核の戦後史』ほか。



沢知恵／SAWA Tomoe

【歌手、コモエスタ代表】

1971年生まれ。日本、韓国、アメリカで育つ。3歳よりピアノを弾く。東京藝術大学在学中に歌手デビュー。現在までに〈こころ〉など27枚のアルバムを発表。98年、韓国における日本の大衆文化開放後、初めて公式に日本語でうたい、第40回日本レコード大賞アジア音楽賞受賞。圧倒的迫力のピアノ弾き語りパフォーマンスで、世代を越えたファンに支持されている。ハンセン病療養所や少年院などでも活動。共著『世界がステージ!』ほか著書・訳書多数。



辛淑玉／SHIN Sugoku

【人材育成コンサルタント、のりこえねっと共同代表】

在日三世、東京生まれ、韓国籍。2003年多田謡子反権力人権賞受賞、2013年エイボン女性年度賞受賞。著書『怒りの方法』『悪あがきのすすめ』『差別と日本人』『その一言が言えない、このニッポン』『せっちゃんのごちそう』など多数。連載：「わたしのアングル」（ちいさいなかま）「山椒のひとつぶ」（月刊マスコミ市民）「たんこぶ」（週刊新社会）



西谷修／NISHITANI Osamu

【立教大学教授】

1950年、愛知県北設楽郡生まれ。東大法学部卒業後、都立大仏文修士修了、パリ第八大学留学。明治学院大学文学部教授、東京外国語大学大学院総合国際学研究科教授を経て、現在、立教大学文学研究科特任教授。フランス現代思想の研究をベースに戦争、死、宗教、世界史、医療など、広く現代の問題を論じる。「立憲デモクラシーの会」呼びかけ人。主著に『不死のワンダーランド』『戦争論』『〈テロル〉との戦争』『理性の探求』『破局のプリズム』などがある。バタイユ、ルジャンドル等フランス思想の翻訳も多い。



宮台真司／MIYADAI Shinji

【社会学者、首都大学東京教授】

大学院在学中からサブカルライターとして活躍し、90年代に入るとメディアにもたびたび登場、行動する論客として脚光を浴びた。その後は国内の新聞雑誌やテレビに接触せず、インターネット動画番組「マル激トーク・オン・デマンド」や個人ブログ「ミヤダイ・ドットコム」など自らの媒体を通じて社会に発信を続ける。著書は『日本の難点』『14歳からの社会学』『〈世界〉はそもそもデタラメである』など多数ある。